

(10) 対年ら 象標の 基準検 準価討 地格の 等 前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 883,000 円 / m <sup>2</sup>				価 格 変 動 状 況 要 因 の	(一般的 要 因)  (地 域 要 因)  (個別的 要 因)	人口、世帯数は増加傾向にある。インフレの進行など懸念される材料もあるが、不動産需要はいずれの用途でも堅調である。  駅に近い幹線道路沿いの商業地域である。その利便性、繁華性を反映して、併用共同住宅地としての需要は旺盛である。  個別的要因に変動はない。
	- 2 基準地が共通地点 (代表標準地等と同一地点) である場合の検討						
	代表標準地	標準地	-				
	標準地番号 公示価格 円 / m <sup>2</sup>						
	変動率	年間	+13.3 %	半年間	%		